

2020年 1 月19日 実施

令和元年度（第62回）
情 報 処 理 検 定 試 験
〈ビジネス情報部門〉
第 2 級 筆記試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は 8 ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は30分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

受 験 番 号

【1】 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

1. ソフトウェアの設計上のミスや不具合などによる安全機能上の欠陥。コンピュータウイルスの侵入や利用権限のないユーザに利用されるなど、攻撃を受けやすいため対策が必要である。
2. 音声などの情報を符号化せずに、連続的に変化する信号としてデータを送受信する回線。
3. インターネット上の動画や音楽などを視聴する際、すべてのデータがダウンロードされるのを待たずに、受信と再生を並行して行う方式。
4. 本人の承諾なしに他人から写真や動画を撮られたり、また、撮影された写真や動画を無断で公表されたりしないように主張できる権利。
5. 他人のユーザIDやパスワードなどを利用し、利用許可のないネットワークシステムに接続する行為などを禁止した法律。

解答群

- | | | |
|--------------|--------------|-----------|
| ア. 個人情報保護法 | イ. ストリーミング | ウ. 肖像権 |
| エ. セキュリティホール | オ. 著作権 | カ. アナログ回線 |
| キ. デジタル回線 | ク. 不正アクセス禁止法 | ケ. バックアップ |
| コ. ファイアウォール | | |

【2】 次のA群の語句に最も関係の深い説明文をB群から選び、記号で答えなさい。

- < A群 > 1. アクセスアーム 2. BMP 3. I E E E
 4. イニシャルコスト 5. W i - F i

< B群 >

- ア. 磁気ディスク装置において、データを読み書きする部分をディスク上の所定の位置に移動させるための部品。
- イ. コンピュータやシステムの設備を運用や保守、管理するためにかかる費用。消耗品や保険料なども含まれる。
- ウ. 静止画像データを圧縮して保存するファイル形式で、写真の保存に使われることが多い。一般的に、非可逆圧縮であるので、画質は劣化するが容量を小さくできる。
- エ. 無線LANを利用する端末が、接続するアクセスポイントを識別するための文字列。
- オ. 新しくコンピュータやシステムの設備を導入し、稼働するまでにかかる費用。工事代金や設置費用なども含まれる。
- カ. 磁気ディスク装置において、ディスク上のデータを直接読み書きする部分。
- キ. 米国に本部があり、電気電子技術分野における世界規模の研究組織。コンピュータや通信技術における規格の標準化に大きな役割を果たしている。
- ク. 米国国内における工業製品の標準化や規格化を行う組織。文字コードやプログラム言語の標準化も行っている。
- ケ. 静止画像データを圧縮せずに点の集まりとして保存するファイル形式で、圧縮をしないので容量は大きくなりやすいが、画質は劣化しない。
- コ. 無線LANにおいて、通信する機器のメーカーや機種の違いを問わず、相互接続が保証されることを示す名称。

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

1. 2進数の11110と10進数の9との差を表す2進数。

ア. 101

イ. 1100

ウ. 10101

2. 複数のファイルを一つのファイルにまとめたり、まとめたファイルから元のファイルを取り出したりするためのソフトウェア。

ア. 暗号化

イ. 復号

ウ. アーカイバ

3. イメージスキャナを用いて、縦3インチ、横4インチの写真を、解像度200dpi、フルカラーで取り込み、その画像を圧縮せずに保存する場合、画像1枚の記憶容量。ただし、フルカラーは24ビットカラーとし、1MB=10⁶Bとする。

ア. 1.44MB

イ. 2.88MB

ウ. 11.52MB

4. 電子楽器の音程や音の大きさなどの演奏情報を、デジタルデータとして記録するファイル形式。

ア. ZIP

イ. MIDI

ウ. MP3

5. 次のシュノーケリング体験者表と、ダイビング体験者表の和集合をとった場合、結果表として適切なもの。

シュノーケリング体験者表

生徒番号	生徒名
2201	井上 ○○
2207	小林 ○○
2211	佐藤 ○○
2221	中村 ○
2225	橋本 ○
2227	松田 ○
2233	山本 ○○
2235	吉田 ○○

ダイビング体験者表

生徒番号	生徒名
2201	井上 ○○
2203	木村 ○○
2211	佐藤 ○○
2215	田中 ○○
2221	中村 ○
2228	山口 ○○
2231	山田 ○○
2235	吉田 ○○

ア. 結果表

生徒番号	生徒名
2207	小林 ○○
2225	橋本 ○
2227	松田 ○
2233	山本 ○○

イ. 結果表

生徒番号	生徒名
2201	井上 ○○
2203	木村 ○○
2207	小林 ○○
2211	佐藤 ○○
2215	田中 ○○
2221	中村 ○
2225	橋本 ○
2227	松田 ○
2228	山口 ○○
2231	山田 ○○
2233	山本 ○○
2235	吉田 ○○

ウ. 結果表

生徒番号	生徒名
2201	井上 ○○
2211	佐藤 ○○
2221	中村 ○
2235	吉田 ○○

【4】 あるブーツ専門店では、商品に関するデータを次のようなリレーショナル型データベースで管理している。

次の各問いに答えなさい。

商品表

商品コード	商品名	価格
G001	エンジニア	5000
G002	サイドゴア	3000
G003	ワーク	15000
G004	レースアップ	10000
G005	ウエスタン	5000
G006	サイドジップ	7000
G007	フリンジ	3000
G008	ムートン	8000

地区表

地区コード	地区名
E	東地区
N	北地区
S	南地区
W	西地区

受注表

受注番号	店舗コード	商品コード	数量
1	T07	G008	8
2	T05	G002	6
3	T09	G001	3
4	T08	G004	2
5	T03	G007	2
6	T02	G003	4
7	T03	G006	3
8	T01	G003	5
9	T04	G004	2
10	T10	G006	6
11	T02	G004	3
12	T10	G005	3
13	T05	G007	10
14	T06	G005	4
15	T08	G003	2
16	T09	G008	5
17	T01	G007	11
18	T04	G008	6
19	T06	G004	1
20	T03	G005	3
21	T09	G004	7
22	T06	G007	9
23	T07	G006	3
24	T08	G001	2
25	T04	G002	7

店舗表

店舗コード	店舗名	電話番号	住所	地区コード
T01	A店	XX-XXXX-8810	〇〇市本町9-19	E
T02	B店	XXX-XXX-1170	□□市栄町160	W
T03	C店	XX-XXXX-9344	●●●市新町316-5	N
T04	D店	XXX-XXX-1967	□□市幸町4-5	W
T05	E店	XXX-XXX-6784	□□市緑町2-3	W
T06	F店	XX-XXXX-1559	◎◎◎市北町2-5-1	N
T07	G店	XXX-XXX-7151	▲▲市旭町528	S
T08	H店	XX-XXXX-1201	△△市南町506	S
T09	I店	XX-XXXX-1395	◎◎◎市元町2588	N
T10	J店	XX-XXXX-3502	〇〇市東町880	E

問1. 店舗表の主キーと外部キーの組み合わせとして適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、主キーは、必要最低限かつ十分な条件を満たしていること。

(主キー)

(外部キー)

ア. 地区コード

店舗コード

イ. 店舗コード

なし

ウ. 店舗コード

地区コード

問2. 次の(1)～(3)のSQL文によって抽出されるデータを解答群から選び、記号で答えなさい。

- (1) SELECT 商品名
FROM 商品表
WHERE 価格 < 7000
- (2) SELECT 店舗名
FROM 店舗表, 受注表
WHERE 店舗表.店舗コード = 受注表.店舗コード
AND 商品コード = 'G001'
- (3) SELECT 店舗名, 商品名
FROM 商品表, 地区表, 店舗表, 受注表
WHERE 商品表.商品コード = 受注表.商品コード
AND 地区表.地区コード = 店舗表.地区コード
AND 店舗表.店舗コード = 受注表.店舗コード
AND 地区名 = '東地区'
AND 数量 > 6

解答群

ア.	エンジニア サイドゴア ウエスタン フリンジ	イ.	E店 D店	ウ.	J店 サイドジップ A店 フリンジ
エ.	エンジニア サイドゴア ウエスタン サイドジップ フリンジ	オ.	A店 B店 H店	カ.	A店 フリンジ
キ.	ワーク レースアップ ムートン	ク.	I店 H店	ケ.	A店 ワーク J店 ウエスタン

問3. 次のSQL文を実行したとき、表示される適切な数値を答えなさい。

SELECT AVG(数量) AS 実行結果
FROM 受注表
WHERE 商品コード = 'G007'

実行結果
※

(注) ※印は、値の表記を省略している。

【5】 次の各問いに答えなさい。

問1. 次の表は、東京2020オリンピック・パラリンピックの開会式までのカウントダウンを示すものである。B 6とB 13は、本日から開会式までの日数を表示する。B 6に設定する次の式の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、本日は、2020年1月19日とする。

=(B4,D4,F4)-TODAY()

ア. DATE

イ. DAY

ウ. MONTH

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		東京2020オリンピック						
3								
4		開会式	2020	年	7	月	24	日 まで
5								
6		あと	187	日				
7								
8								
9		東京2020パラリンピック						
10								
11		開会式	2020	年	8	月	25	日 まで
12								
13		あと	219	日				

問2. 次の表は、ある団体の生命保険会社に関する会員表である。「社名」は、「会員名」の左端から 生命 までの文字列を表示する。C 4に設定する次の式の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をC 45までコピーする。

=LEFT(B4,)

ア. SEARCH("生",B4,1)+1

イ. SEARCH("生命",B4,1)

ウ. SEARCH("生命",B4,1)+1

	A	B	C
1			
2		会員表	
3		会員ID	会員名 社名
4		1	亜細亜生命株式会社 亜細亜生命
5		2	}
24		21	長生生命保険株式会社 長生生命
25		22	徳命生命相互会社 徳命生命
26		23	H a p p y生命保険株式会社 H a p p y生命
27		24	B & D生命保険株式会社 B & D生命
28		25	}
45		42	リラックス生命保険相互会社 リラックス生命

問3. 次の表は、ある年の12月の降水量である。「最少降水量」は、「降水量(mm)」のうち 0 を除いた最小値を求める。E 3に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア. =MIN(B5:B35,0)

イ. =SMALL(B5:B35,COUNTIFS(B5:B35,0)+1)

ウ. =LARGE(B5:B35,COUNTIFS(B5:B35,0)+1)

	A	B	C	D	E
1					
2		12月の降水量			
3		日	降水量 (mm)		
4					
5		1	0		
6		2	0		
7		3	0		
8		4	0		
9		5	0		
10		6	18		
11		7			
12		8			
13		9			
14		10	0		
15		11	7		
16		12	15		
17		13	0.5		
18		14	0		
19		15	0		
20		16			
21		17			
22		18			
23		19			
24		20			
25		21			
26		22			
27		23			
28		24			
29		25			
30		26			
31		27			
32		28			
33		29			
34		30			
35		31	0		

最少降水量	0.5
最多降水量	18

ただし、0を除く

問4. 次の表は、あるイベント開催期間の臨時駐車場の現金収支表である。「摘要」ごとに「収入」と「支出」を集計するため、表計算ソフトウェアのグループ集計機能を使用し、集計結果のように求める。この機能を使用する前に行う処理として適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア.「摘要」を基準として、昇順に並べ替える。
 イ.「収入」を基準として、降順に並べ替える。
 ウ.「支出」を基準として、昇順に並べ替える。

	A	B	C	D	E
1					
2			現金収支表		
3	日	曜	摘要	収入	支出
4	2019/12/1	日	11N_北駐車場普通車	37,000	
5	2019/12/1	日	12N_北駐車場大型車	22,000	
6	2019/12/1	日	11S_南駐車場普通車	29,000	
7	2019/12/1	日	12S_南駐車場大型車	12,000	
8					
9					
10	2019/12/15	日	11N_北駐車場普通車	44,000	
11	2019/12/15	日	12N_北駐車場大型車	18,000	
12	2019/12/15	日	20N_北駐車場営業費		595,000
13	2019/12/15	日	11S_南駐車場普通車	27,500	
14	2019/12/15	日	12S_南駐車場大型車	12,000	
15	2019/12/15	日	20S_南駐車場営業費		406,000
16					
17					
18	2019/12/31	火	11N_北駐車場普通車	27,000	
19	2019/12/31	火	12N_北駐車場大型車	8,000	
20	2019/12/31	火	20N_北駐車場営業費		518,000
21	2019/12/31	火	11S_南駐車場普通車	18,500	
22	2019/12/31	火	12S_南駐車場大型車	8,000	
23	2019/12/31	火	20S_南駐車場営業費		336,000

集計結果

	A	B	C	D	E
1					
2			現金収支表		
3	日	曜	摘要	収入	支出
4			11N_北駐車場普通車 集計	1,796,500	0
5			11S_南駐車場普通車 集計	1,274,000	0
6			12N_北駐車場大型車 集計	632,000	0
7			12S_南駐車場大型車 集計	382,000	0
8			20N_北駐車場営業費 集計	0	1,113,000
9			20S_南駐車場営業費 集計	0	742,000
10			総計	4,084,500	1,855,000

問5. 次の表は、ある商品の目標販売数量計算表である。次の条件から、「目標利益」を 1000000 として、次のようなパラメータ設定を行い、表計算ソフトウェアのデータ分析機能を実行し、「目標販売数量」を求める。実行したデータ分析機能の名称として適切なものを選び、記号で答えなさい。

	A	B	C
1			
2	目標販売数量計算表		
3	目標販売数量		個
4	販売価格	1,500	円/個
5	売上高	0	円
6	変動費	0	円
7	固定費	3,200,000	円
8	目標利益	-3,200,000	円



実行結果

	A	B	C
1			
2	目標販売数量計算表		
3	目標販売数量	6,000	個
4	販売価格	1,500	円/個
5	売上高	9,000,000	円
6	変動費	4,800,000	円
7	固定費	3,200,000	円
8	目標利益	1,000,000	円

条件

- ・ B 4 は 1500 を入力する。
- ・ B 5 は次の式を入力する。

$$=B3*B4$$
- ・ B 6 は次の式を入力する。ただし、1 個あたりの変動費は800円である。

$$=B3*800$$
- ・ B 7 は 3200000 を入力する。
- ・ B 8 は次の式を入力する。

$$=B5-(B6+B7)$$

パラメータ設定

数式入力セル:

目標値:

変化させるセル:

ア. クロス集計

イ. ゴールシーク

ウ. フィルタ

【6】 次の表は、ある飲食店における鍋料理売上一覧表である。作成条件にしたがって、各問いに答えなさい。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1												
2	鍋料理売上一覧表											
3												
4	品番	品名	分類	10月		11月		12月		四半期合計		備考
5				数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
6	WS011280	すき焼き	すき鍋	154	197,120	195	249,600	200	256,000	549	702,720	○
7	WS021980	さくら鍋	すき鍋	47	93,060	49	97,020	78	154,440	174	344,520	○
8	WS031500	ボタン鍋	すき鍋	26	39,000	16	24,000	30	45,000	72	108,000	
9	WS041680	土手鍋	すき鍋	67	112,560	27	45,360	34	57,120	128	215,040	
10	WN011800	ちゃんこ鍋	煮汁鍋	114	205,200	128	230,400	150	270,000	392	705,600	
11	WN021500	寄せ鍋	煮汁鍋	171	256,500	181	271,500	226	339,000	578	867,000	○
12	WN031500	キムチ鍋	煮汁鍋	231	346,500	209	313,500	206	309,000	646	969,000	
13	WN041440	もつ鍋	煮汁鍋	60	86,400	118	169,920	95	136,800	273	393,120	
14	WM011680	湯豆腐	水鍋	31	52,080	48	80,640	60	100,800	139	233,520	
15	WM021500	フグちり	水鍋	64	96,000	54	81,000	66	99,000	184	276,000	
16	WM031500	水炊き	水鍋	33	49,500	75	112,500	101	151,500	209	313,500	○
17	WM041200	しゃぶしゃぶ	水鍋	56	67,200	154	184,800	119	142,800	329	394,800	○
18												
19	分類別四半期合計集計表											
20	分類コード	分類	数量	金額	順位							
21	S	すき鍋	923	1,370,280	2							
22	N	煮汁鍋	1,889	2,934,720	1							
23	M	水鍋	861	1,217,820	3							
24												
25	四半期合計金額最大品目											
26	品番	品名	分類	10月		11月		12月		四半期合計		
27				数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
28	WN031500	キムチ鍋	煮汁鍋	231	346,500	209	313,500	206	309,000	646	969,000	
29			割合	21.9%	21.6%	16.7%	16.9%	15.1%	15.0%	17.6%	17.5%	

作成条件

1. 「鍋料理売上一覧表」は、次のように作成する。

(1) 「品番」は、次のように構成されている。

例 WS011280 → W S 01 1280
料理コード 分類コード 分類ごとの連番 単価

(2) 「分類」は、「品番」の「分類コード」をもとに、「分類別四半期合計集計表」を参照して表示する。

(3) 各月の「金額」は、「品番」の「単価」に、各月の「数量」を掛けて求める。

(4) 「四半期合計」の「数量」は、各月の「数量」の合計を求める。また、「金額」も同様に求める。

(5) 「備考」は、「12月」の「金額」が、過去2か月の「金額」の平均以上で、かつ「四半期合計」の「金額」が「分類」ごとの「四半期合計」の「金額」の平均以上の場合、○を表示し、それ以外の場合、何も表示しない。

2. 「分類別四半期合計集計表」は、次のように作成する。

(1) 「数量」は、「鍋料理売上一覧表」の「分類」ごとに「四半期合計」の「数量」の合計を求める。また、「金額」も同様に求める。

(2) 「順位」は、「金額」を基準として、降順に順位を求める。

3. 「四半期合計金額最大品目」は、次のように作成する。

(1) 「品番」は、「鍋料理売上一覧表」の「四半期合計」における「金額」の最大値に対する「品番」を表示する。また、「品名」～「四半期合計」も同様に表示する。

(2) 「割合」は、「鍋料理売上一覧表」の「10月」～「四半期合計」の「数量」および「金額」の合計に対する、28行目の「10月」～「四半期合計」の「数量」および「金額」の割合を求める。ただし、%で小数第1位まで表示する。

問 1. C 6 に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をC 17までコピーする。

- ア. =VLOOKUP(MID(A6, 2, 1), \$A\$21:\$B\$23, 2, TRUE)
- イ. =VLOOKUP(MID(A6, 2, 1), \$A\$21:\$B\$23, 2, FALSE)
- ウ. =HLOOKUP(MID(A6, 4, 1), \$A\$21:\$B\$23, 2, TRUE)

問 2. E 6 に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. =VALUE(RIGHT(\$A6, 4))*D6
- イ. =MOD(VALUE(RIGHT(\$A6, 4)), 1000)*D6
- ウ. =VALUE(RIGHT(\$A6, FIND("0", \$A6, 1)))*D6

問 3. L 6 に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をL 17までコピーする。

- ア. =IF(AND(I6>=AVERAGE(E6, G6), K6>=AVERAGEIFS(\$K\$6:\$K\$17, \$C\$6:\$C\$17, C6)), "○", "")
- イ. =IF(AND(I6>=AVERAGE(E6, G6), K6>=AVERAGE(\$K\$6:\$K\$17)), "○", "")
- ウ. =IF(OR(I6>=AVERAGE(E6, G6), K6>=AVERAGE(\$K\$6:\$K\$17)), "○", "")

問 4. C 21に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. =SUMIFS(\$C\$6:\$C\$17, \$J\$6:\$J\$17, B21)
- イ. =SUM(D6:D17, F6:F17, H6:H17)
- ウ. =SUMIFS(\$J\$6:\$J\$17, \$C\$6:\$C\$17, B21)

問 5. D 29に設定する次の式の空欄(a), (b)にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をK 29までコピーする。

=/

- ア. D28
- イ. SUM(\$D\$6:\$D\$17)
- ウ. \$D\$28
- エ. SUM(D6:D17)



(令和2年1月19日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和元年度（第62回）情報処理検定試験ビジネス情報部門 第2級 筆記

解 答 用 紙

【1】	1	2	3	4	5

【2】	1	2	3	4	5

【3】	1	2	3	4	5

【4】	問 1	問 2			問 3
		(1)	(2)	(3)	

小計	
----	--

【5】	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5

【6】	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	
					(a)	(b)

小計	
----	--

試 験 場 校 名	受 験 番 号

得 点 合 計

(令和 2 年 1 月19日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和元年度（第62回）情報処理検定試験ビジネス情報部門 第 2 級 筆記
審 査 基 準

【1】	1	2	3	4	5
	エ	カ	イ	ウ	ク

【2】	1	2	3	4	5
	ア	ケ	キ	オ	コ

【3】	1	2	3	4	5
	ウ	ウ	ア	イ	イ

【4】	問 1	問 2			問 3
		(1)	(2)	(3)	
	ウ	ア	ク	カ	8

各 3 点 20問	小計	60
--------------	----	----

【5】	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5
	ア	ウ	イ	ア	イ

【6】	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	
					(a)	(b)
	イ	ア	ア	ウ	ア	エ

※ 複数解答問題は，問ごとにすべてができて正答とする。

各 4 点 10問	小計	40
--------------	----	----

得 点 合 計
100

2020年 1 月19日 実施

令和元年度（第62回）
情 報 処 理 検 定 試 験
〈ビジネス情報部門〉
第 2 級 実技試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 監督者の指示にしたがって、シート名「報告書」の A 1 のセルに
試験場校名および受験番号を入力してください。
3. 試験問題は 2 ページあります。
4. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
5. 制限時間は20分です（印刷時間は含みません）。
6. 印刷は監督者の指示にしたがって、1 ページで印刷してください。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

受 験 番 号

次の表は、ある家電量販店における家庭用エアコン販売実績表である。作成条件にしたがって、シート名「価格表」とシート名「販売データ表」から、シート名「報告書」を作成しなさい。

作成条件

ワークシートは、試験開始前に提供されたものを使用する。

1. 表およびグラフの体裁は、右ページを参考にして設定する。

〔 設 定 す る 書 式 : 罫 線
設定する数値の表示形式 : 3 桁ごとのコンマ, %, 小数の表示桁数 〕

2. 表の※印の部分は、式や関数などを利用して求める。

3. グラフの※印の部分は、表に入力された値をもとに表示する。

4. 「1. 機種別販売実績表」は、次のように作成する。

- (1) 「グレード」は、「機種」をもとに、シート名「価格表」を参照して表示する。
- (2) 「販売数計」は、シート名「販売データ表」から「機種」ごとに「販売数」の合計を求める。
- (3) 「販売額計」は、シート名「販売データ表」から「機種」ごとに「販売額」の合計を求める。
- (4) 「1 台あたり売価」は、「販売額計」を「販売数計」で割って求める。ただし、整数未満を切り捨てて表示する。
- (5) 「価格」は、「機種」をもとに、シート名「価格表」を参照して表示する。
- (6) 「1 台あたり値引率」は、次の式で求める。ただし、%で小数第 1 位まで表示する。

「1 - 1 台あたり売価 ÷ 価格」

- (7) 「備考」は、「価格」が 100000 未満、かつ「販売額計」が「販売額計」の平均以上の場合、○ を表示し、それ以外の場合、何も表示しない。

5. 「2. 販売店別販売実績表」は、次のように作成する。

- (1) 「販売数計」は、シート名「販売データ表」から「販売店」ごとに「販売数」の合計を求める。
- (2) 「販売額計」は、シート名「販売データ表」から「販売店」ごとに「販売額」の合計を求める。
- (3) 「合計」は、各列の合計を求める。

6. 100%積み上げ横棒グラフは、「2. 販売店別販売実績表」から作成する。

- (1) 区分線を設定する。
- (2) 数値軸(横軸)の目盛は、最小値(0%), 最大値(100%) および間隔(25%)を設定する。
- (3) 項目軸(縦軸)の順序を設定する。
- (4) 凡例の位置を設定する。
- (5) データラベルを設定する。

7. 「3. 最多販売数計の機種および最少販売数計の機種」は、次のように作成する。

- (1) 「販売数計」の「最多」は、「1. 機種別販売実績表」の「販売数計」の最大値を求める。同様に「販売数計」の「最少」は最小値を求める。
- (2) 「機種」は、「販売数計」をもとに「1. 機種別販売実績表」の「販売数計」を参照して一致する値が上から何番目にあるかを求め、その値を行番号として「機種」を参照して、表示する。

A	B	C	D
---	---	---	---

1				
2	価格表			
3	機種	グレード	サイズ	価格
4	X06	エクストラ	6畳用	98,000
5	X12	エクストラ	12畳用	118,000
〃	〃	〃	〃	〃
11	B12	ベーシック	12畳用	81,000
12	B18	ベーシック	18畳用	101,000

(価格表)

A	B	C	D	E	F
---	---	---	---	---	---

1						
2	販売データ表					
3	番号	日付	機種	販売店	販売数	販売額
4	1	2019/6/1	M06	A店	1	53,900
5	2	2019/6/1	M12	A店	2	150,400
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
496	493	2019/6/30	B18	C店	1	80,800
497	494	2019/6/30	X06	C店	2	154,720

(販売データ表)

A	B	C	D	E	F	G	H	I
---	---	---	---	---	---	---	---	---

家庭用エアコン販売実績表

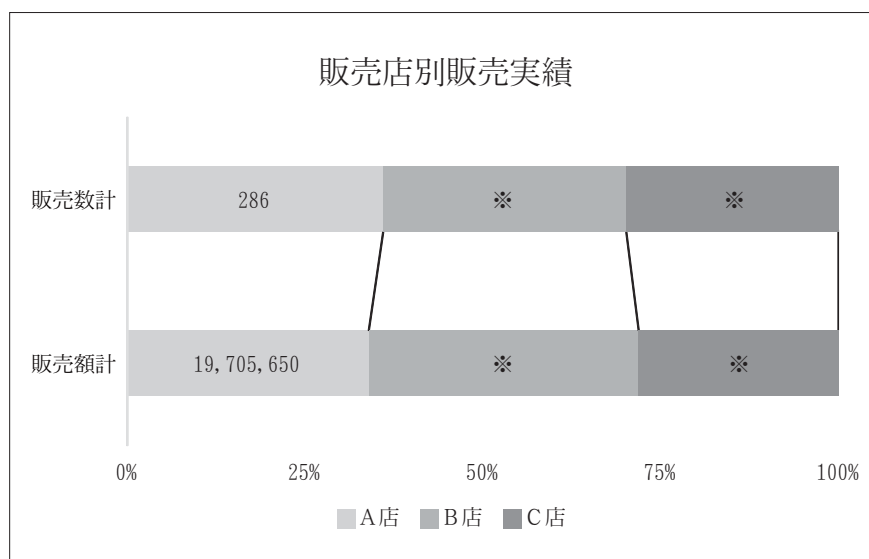
1. 機種別販売実績表

機種	グレード	販売数計	販売額計	1台あたり 売価	価格	1台あたり 値引率	備考
X18	エクストラ	67	7,941,520	118,530	138,000	14.1%	
X12	※	※	※	※	※	※	※
X06	※	※	※	※	※	※	※
M18	※	※	※	※	※	※	※
M12	※	※	※	※	※	※	※
M06	※	※	※	※	※	※	※
B18	※	※	※	※	※	※	※
B12	※	※	※	※	※	※	※
B06	※	※	※	※	※	※	※

2. 販売店別販売実績表

販売店	販売数計	販売額計
A店	286	19,705,650
B店	※	※
C店	※	※
合計	※	※

販売店別販売実績



3. 最多販売数計の機種および最少販売数計の機種

内容	販売数計	機種
最多	※	※
最少	※	※

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和元年度（第62回）情報処理検定試験ビジネス情報部門 第2級 実技

審査基準

A

B

C

D

E

F

G

H

I

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

家庭用エアコン販売実績表

1. 機種別販売実績表

機種	グレード	販売数計	販売額計	1台あたり 売価	価格	1台あたり 値引率	備考
X18	エクストラ	67	7,941,520	118,530	138,000	14.1%	
X12	エクストラ	68	6,761,580	99,435	118,000	15.7%	
X06	エクストラ	92	7,375,420	80,167	98,000	18.2%	○
M18	ミドル	77	6,361,200	82,612	114,000	27.5%	
M12	ミドル	82	5,654,100	68,952	94,000	26.6%	
M06	ミドル	115	6,491,100	56,444	77,000	26.7%	○
B18	ベーシック	72	5,555,000	77,152	101,000	23.6%	
B12	ベーシック	107	6,605,550	61,734	81,000	23.8%	○
B06	ベーシック	116	5,334,450	45,986	61,000	24.6%	

注 1

2. 販売店別販売実績表

販売店	販売数計	販売額計
A店	286	19,705,650
B店	272	22,027,570
C店	238	16,346,700
合計	796	58,079,920

販売店別販売実績

注 2

販売数計

286

272

238

注 3

販売額計

19,705,650

22,027,570

16,346,700

注 4

注 5

0%

25%

50%

75%

100%

注 6

A店

B店

C店

3. 最多販売数計の機種および最少販売数計の機種

内容	販売数計	機種
最多	116	B06
最少	67	X18

配点

- ① 表の作成 () の箇所 …… 5点×13箇所=65点
- ② 罫線 …… 5点×1箇所=5点(「1. 機種別販売実績表」の罫線が正確にできている)
- ③ グラフの作成 () の箇所 … 5点×6箇所=30点
- 注 1 B12が ○ , B06が空白。
- 注 2 100%積み上げ横棒グラフで、位置は「販売額計」の上であること。左右の積み重ね順およびデータラベルの有無は問わない。
- 注 3 区分線が設定されていること。
- 注 4 数値 (22,027,570)。
- 注 5 最小値 (0%), 最大値 (100%) および間隔 (25%)。
- 注 6 位置はグラフの下側にあること。左右の順序は問わない。

※ 審査にあたっては、必要に応じて「審査上の注意事項」を参照してください。